真田氏発祥の郷

地域自治センターだより

[編集]上田市真田地域自治センター 地域振興課 〒386-2292 上田市真田町長7178-1

有線2015 TEL0268-72-2200(代表) FAX0268-72-4140

平成24年/2012 3.16 No.25









今季から J リーグの J 2 に昇格した松本山雅 F C に所属する塩沢勝吾選手が1月14日に 真田体育館でサッカークリニックを行いました。

地域の子どもたちに夢を持ってもらいたいと、さなだスポーツクラブが石舟自治会出身 の塩沢選手を招き開催したもので、参加した小・中学生は、現役ノリーガーの技術とアド バイスに目を輝かせてボールを追いました。

小学生に向けて塩沢選手は、水泳や陸上競技にも励んでいたという自身の経験から、 ともあるので、色々なスポーツ<mark>にチャレンジして欲しいと話しまし</mark>た。





真田地域の路線バスの車内に、今春卒園を迎える園児の皆さんが描いた絵画を展示 したギャラリーバスが2月14日から3月14日まで運行しました。

クレヨンや水彩絵の具などで自由にのびのびと描かれた85枚の作品が上田バス㈱の 路線バス6台に分けて展示され乗客の目を楽しませました。

2月16日には、すがだいら保育園の園児がギャラリーバスに乗車。自分や友達の描いた 絵を見つけ歓声があがりました。バスが保育園の周囲を20分ほど走ると園児たちは「今 度は家族と乗ってみたい」「みんなに絵をみてもらいたい」と楽しそうに話していました。

園児の皆さんの描いた絵は上田市ホームページで「ギャラリーバス」を検索してい ただくとご覧いただけます。

http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/sanada/0820/20120208164417105.html



4月 7日 少年スポーツ教室開講式 (さなだスポーツクラブ)

5月 13日 真田地域体育祭 20日 御屋敷つつじ祭り

◯ こどもたちと のこそう ふるさと 真田の自然

真田地域の消費生活展「さなだみんなの生活展」が1月28 日に開催され大勢の皆さんが訪れました。地域の団体が環境 問題や食の安全などを取り上げて展示、ステージでは小学生 のダンスや合唱、長寿会による寸劇、省エネ方法の講演など 多彩な催しが行われました。傍陽小学校4年生は節電につい て学習した成果を展示、児童の説明に多くの人が足を止め聞







◎ わが子をおもう心

材に選択されている道祖神まつり 「戸沢のねじ行事」が行われまし た。就学前の子どもと母親がわら馬 をひいて道祖神に集まり「ねじ」と いう米の粉の餅をお供えして子ども の無病息災を祈りました。あわせて 戸沢自治会では戸沢公民館で文化祭 を開催。鮮やかな色で飾られた様々 な形の「ねじ」や、地域の皆さんの 作品が展示されました。





○ チームが一丸となって

第6回さなだスポーツクラブ杯真田地域小 学生ドッジボール大会が2月26日に真田体育 館で行われました。

大きな声援が響くなか、3・4年生の部に6 チーム、5・6年生の部に5チームが参加し熱 戦が繰り広げられました。





【試合結果】

3・4年生の部

優勝 パワーアタック長(長小)

準優勝 本原モンキーズセカンド (本原小)

第3位 本原ファイターズ (本原小)

優勝傍陽オリオンファイターズ(傍陽小)

準優勝 本原ドラゴンズ5 (本原小)

第3位 真田インテンション長(長小)



平穏な日々の幸せや周り の人たちの大切さを実感し た大震災。新成人一人ひと りが現状を見つめ、前を向 き思いやりを持ち社会に力 を発揮して行きたい。

誓いの言葉から 成人者代





上段右から 実行委員長で司会の 白井秀太郎さん(竹室) 司会の長井理乃さん(下郷沢)

○ ふるさと真田を胸に

1月8日に開催された平成24年上田市成人式真田会場は懐 かしい友や恩師との再会を喜ぶ新成人の姿が見られました。

今年、真田地域では110人が新成人を迎え100人が出席し た式典では、恩師から語られる中学時代のエピソードに互 いに顔を見合わせて笑いあうなど楽しいひと時を過ごし、 ふるさと真田を胸に新たな一歩を踏み出しました。



○ 一年の無病息災を祈る



いずみ幼稚園で1 月14日にどんど焼き が行われました。 公開保育として就園 前の子どもや保護者 も参加して米の粉で まゆ玉をつくり柳の 枝に付けました。各家

庭から持ち寄った正

月飾りなどに火がつけられると歓声があがり、たき上げた煙 を体に浴びながら、まゆ玉をあぶり今年一年の健康を祈って ほおばりました。

○ はじめての図書館まつり

真田図書館で第1回図書館まつりが12月17日に開催さ れました。図書館での役割を果たした本や雑誌を自由に持 ち帰ることができる「本のリサイクル市」が初めて開か

れ、用意された本のほ とんどが無くなるほど 好評でした。2階の児 童図書コーナーでは絵 本の読み聞かせや腹話 術ショーなどが行わ れ、昼にはつきたての お餅が振る舞われるな ど図書館でのひと時を 楽しみました。





田地 域 る協議会が

2:

平成23年度 第9回協議会から

会の意見書を掲載します。 前号に引き続き、 第3分科

真田地域協議会意見書

いて の推進 安心して暮らせる地域づくり 真田地域の防災につ

地域まちづくり方針の一つで上田市総合計画における真田真田地域協議会では第一次 づくり」について協議を進め てきました。 ある「安心して暮らせる地域

等により明らかになりまし には東日本大震災が発生する た。また、平成23年3月11日 とが自治会長へのアンケート 分に活動できる状況に無いこ 不可欠な自主防災組織 2日豪雨災害に見舞われまし 真田地域は、 のとおり提言いたします。 真田地域の防災について 要性が増していることか 災害に対応するために 災害に強いまちづくり 平成22年8月 が、十

> ⑴自治会単位で、 自主防災組織の構築について 実動できる

団の指導のもと合同防災訓練各地域で行政・消防署・消防 報収集・伝達・連携が重要と を実施すること。 団の指導のもと合同防災訓 組織の役割を確認するため、 なるので、災害時の自主防災 を複数年化することが望まし 機能しにくいので、 変わると災害時に組織として い。また、災害発生時には情 自主防災組織の役員が毎 役員任期

②自治会単位の避難場所の周 知について

機会を設けること。 について地域住民に周知する を活用し、位置やその安全性 所・広域避難場所につい 初期避難場所・一次避難場 事前にハザードマップ等 7

③ 自治会単位の災害時要援護者 登録制度の取り組みについて

必要である。そのために真田 地 制度(住民支えあいマップ)」が ことから、「災害時要援護者登録 誘導や安否確認が重要である 域の全ての自治会が期限 高齢者、 災害発生時には、要援護者 障害者等)の避難

取り組むよう指導すること。設けて、この制度に積極的

市長に意見書を提出

出しました。 市長へ各分科会の意見書を提 日方第2分科会長が出席し、 会長、田中第1分科会長、 1 月 20日、 佐藤会長、

についての説明にひきつづ 長は次のように述べられました。 で協議してきた内容、意見書 分科会長はそれぞれの分科会 への経緯などを話すなか、市 佐藤会長による意見書内容 市長との懇談が行われ各

> たい。 なかで、

・公共交通について

す。

る市からの回答は後日掲載しま

今回提出した意見書に対

大関大副

0) 有事の際にどうする

委員会をより発展させていき いては、特色ある地域づくり り違うと思う。真田地域にお 地域づくりの推進について 地域内分権を目指していく その方法は地域によ

がってくる。

が大事で、それが安心につな

アップして、

皆が見守ること

ならない。要援護者をリスト

新しい視点でどのよ

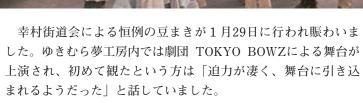
の実現や新幹線延伸を りをしていきたい。 見据えての受け皿づく と考える。大河ドラマ 組むことが必要である うな方策があるか取り 防災について



わがまち魅力アップ応援事業

幸村街道会の豆まき

(幸村街道会)



時折雪が舞う寒い日のなか、振る舞われた熱々の幸村鍋も好 評で、体を暖めた皆さんはつづく豆まきで大きな歓声をあげ、 たくさんの豆や景品を持ち帰りました。

当日は、国道144号線を幸村街道としてPRするために幸村街道 会が作成した大看板の除幕式も行われ、幸村公などが描かれた タタミ9畳分程の大きな看板がお披露目されました。







平成24年の真田地域自治会長さんを紹介します。

| 菅 | \frac{\frac{1}{4}} | 下条 | 幹男 | | |
|----------------|-------------------------------|-----|-----|----|---|
| 大日向 | | 一之為 | 類一茂 | 副组 | 更 |
| 角 | 間 | 倉島 | 勝一 | | |
| 横 | 沢 | 倉島 | 雄二 | | |
| 真 | \blacksquare | 尾崎 | 藤男 | | |
| $\overline{+}$ | 林寺 | 髙寺 | 久嘉 | 監 | 事 |
| 石 | 舟 | 塩沢 | 猛 | 監 | 事 |
| 戸 | 沢 | 牧内 | 勝年 | 会 | 長 |
| っ | くし | 中澤 | 春夫 | | |
| 横 | 尾 | 北沢 | 昌泰 | | |
| 四日市 | | 西藤 | 政美 | 会 | 計 |
| | | | | | |

| | | 入軽丸 | ‡沢 | 佐藤 | 一男 | |
|---------|--------|----------------|-----|-----|-----|----|
| | 岡 | 保 | 関 | 幸夫 | | |
| | | 傍陽□ | P組 | 武捨 | 憲一 | |
| | 傍 | 大 | 庭 | 佐藤 | 真人 | |
| | · 地 | # | 尾 | 長谷川 | 九二男 | |
| 辽自治会連合会 | 区区 | 萩 | į | 中村 | 和美 | : |
| | 当 | \blacksquare | ф | 佐藤 | 守男 | |
| | 会 | 下横 | 道 | 堀内 | 六雄 | |
| | 連 | 中横 | 道 | 花岡 | 信吉 | ! |
| | 上横 | 道 | 堀内 | 英一 | i | |
| | | 穴 | 沢 | 西牧 | 政秀 | ! |
| | | | 777 | 业田 | 占 | Γ. |

| | 八蛭 | 廾沢 | 化胶 | 一五 | | |
|-----------------------|----------------|-----|-----------|-----|----|---|
| | 岡 | 保 | 関 | 幸夫 | | |
| | 傍陽 | 中組 | 武捨 | 憲一 | | |
| 旁 | 大 | 庭 | 佐藤 | 真人 | | |
| 笠見の やごくごう ムロムド 事主人ロムド | # | 尾 | 長谷川 | 九二男 | | |
| | 末 | 灭 | 中村 | 和美 | 会 | 計 |
| | \blacksquare | 中 | 佐藤 | 守男 | | |
| | 下村 | 黄道 | 堀内 | 六雄 | | |
| | 中村 | 黄道 | 花岡 | 信吉 | 監 | 事 |
| | 上村 | 黄道 | 堀内 | 英一 | 副组 | 聂 |
| | 穴 | 沢 | 西牧 | 政秀 | 監 | 事 |
| | 三』 | 事 平 | 半田 | 卓 | 会 | 長 |
| | | | | | | |

| * | |
|----------|--|
| 原 | |
| 匹区 | |
| 目治 | |
| 会連 | |
| 会 | |
| ム | |
| | |

| | | | (敬称略) | | | 各) |
|----|-----|----|----------|----|----|----|
| 上 | 原 | 荻原 | ₹ | 猛 | 副组 | 会長 |
| 下 | 郷沂 | 飯島 | 易 和 |]徳 | | |
| 小王 | 上鄉沂 | 岩林 | 木 徫 | 夫 | | |
| 赤 | 井 | 轟 | 仹 | = | 監 | 事 |
| 下 | 场 | 横派 | マ 之 | 2規 | | |
| 竹 | 竹 室 | 高 | Ŧ | 修 | 会 | 長 |
| 荒 | 井 | 西藤 | 菱 直 | 義 | | |
| 中 | 原 | 安藤 | 菱 賢 | 市 | 会 | 計 |
| 表 | 木 | 小木 | 木 敏 | 排 | | |
| 大 | 炟 | 深沂 | 7 | 朗 | 監 | 事 |
| 下 | 原 | 宮原 | 1 引 | 人 | | |
| 町 | 原 | 伊藤 | 菱 敏 | 雄 | | |
| 出 | 투 | 宮島 | 計 | 秋 | | |

公民館だより







ふれあい in SANADA

岡垣町の子どもたちがホームステイ

平成3年から続く福岡県岡垣町との国内ホームステイ事業で12月23 日から28日まで岡垣町の小中学生19名が上田市を訪れ真田地域のホス トファミリーや子どもたちと交流を深めました。23日夕方に到着した 一行をホストファミリーが迎えて対面式が行われ、お互いに少し緊張 しながらも笑顔で言葉を交わしながら各家庭に向いました。24日は歴 史館などを見学後、ゆきむら夢工房でそば打ちを体験し、昼食に自分 で打ったそばを味わいました。一番に打ち終えた吉田健人さんと吉留 惇平さんは「自分で打ったそばはおいしい」「岡垣町で打ったときよ りおいしくできた」と話していました。午後は真田体育館でのスポー ツレクリエーションで体を動かし、夜には中央公民館に集まってクリ スマスパーティーを楽しみました。25日は長小学校の図工室で長小6 年生も参加して厚紙製の「真田幸村公のかぶと」を製作。すっかり打 ち解けた子どもたち同士で協力して作りました。午後から26日は菅平 でスキーを体験。岡垣ではなかなか見ることのできない一面の雪景色 のなか、ほとんどの皆さんが初めてのスキーに奮闘しました。翌日は 市の史跡巡りなども行われ、上田市を存分に体験されました。







和やかに文化講演会開催

シリーズ文化講演会の第1回講演会が俳優・声優の増岡弘氏を講師に迎え2月18日に真田中央公民館で開催されました。声優としての代表作であるアニメキャラクターの声色も披露しながら、言葉の大切さ、言葉の持つ力をユーモアを交えて講演され、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



4月1日から菅平への路線バスが増便されます

平成24年4月1日(日)から、菅平線が3便増便されます。上田駅発2便と西菅平発1便が11月1日から12月17日を除き通年運行となります。あわせて時刻表も改正されますので詳しくは上田バスのHPをご覧ください。http://www.uedabus.co.jp/

増便バス 発車時刻 上田駅発 午前9時50分 上田駅発 午前10時35分 西菅平発 午後3時35分

間上田バス(株) TEL22-1504

平成24年度

真田有線放送モニター募集について

真田有線放送は、放送内容の向上に役立てるため、番組やお知らせに関する 感想や意見、身近にある話題などの情報を寄せていただくモニターを募集します。

- ●応募条件/真田有線放送加入者で有線放送係が指定した番組を聴くことができる方。
- ●モニター期間/平成24年6月1日から平成25年3月31日まで
- ●モニター内容/有線放送係の指定する番組を月1回モニターし、番組の感想 などを所定の用紙に書いて郵送で提出していただきます。
- ●応募方法/直接、有線放送係まで御連絡ください。
- ●応募締切/3月30日(金)採用の方には、有線放送係から御連絡します。
- ●モニターとして活動していただいた方には謝礼を差し上げます。

間 地域振興課 有線2121 TEL72-2258

上田市はISO14001を導入Ⅰ、環境配慮活動を推進Ⅰ、ています。 使い捨て雷池から、充雷池の利用にかえてみませんか